

ヴィリニウス大学には学生寮が二つあります。実家から通学するには難しいなどの理由で入寮を希望するヴィリニウス大学の生徒および留学生はオーランドゥ・ドーミトリもしくはソウレテキオ・ドーミトリのいずれかに振り分けられます。

【二つの寮の比較】

ソウレテキオ・ドーミトリはヴィリニウス市の郊外で世界遺産である旧市街地からはやや遠い場所に位置しています。この寮は経済学や物理学など、主にビジネス系の学部が位置するキャンパスから徒歩10分程度の距離にあります。

一方、オーランドゥ・ドーミトリは、哲学や言語学、歴史学など、主に教養系の学部が位置するキャンパス（ヴィリニウス旧市街の中心地に位置にあり観光スポットとしても有名）からバスで30分ほどの距離にあります。

【マイルーム・一階の共有スペース】

私はオーランドゥ・ドーミトリに住んでいるので、今回は主にオーランドゥの寮を紹介させていただきます。基本的には、オーランドゥ・ドーミトリでは一部屋あたり2人～3人が住みます。



3人部屋の写真



【バスルーム】

バスルームは三人部屋（もしくは二人部屋）の住人と、隣の二人部屋（もしくは三人部屋）の住人との、最大5人での共有です。隣の部屋が男子部屋（もしくは女子部屋）ということもよくあります。

【1F 共有スペース】

実は部屋の人数に関係なく、マイルームの部屋には机がひとつしか備えられていません。ですが、オーランドゥ・ドーミトリでは一階に自習室があるので、部屋がうるさくて集中できない場合でもその自習室で勉強することができます。一階には自習室のほかにもトレーニングルームのような部屋があり、器具は一切ありませんが、無料で使うことができます。



【キッチン】

ヴィリニウス大学の寮では食事が出ないので、どこかの食事処で済ますか自炊をする必要があります。オーランドゥ・ドーミトリでは各フロアに二つのキッチンがあるのでそのいずれかを使います。ひとつのキッチンにはコンロが四つ、流し台が二つ、そして冷蔵庫が二つあり、自由に使うことができますが、料理の時間帯が被ることはよくあります。



【ランドリー室】

洗濯は寮の地下にあるランドリー室でします。洗濯機は一回 2.5 ユーロ、乾燥機は一回 1.5 ユーロで使用することができます。寮内に売店や自動販売機はないので、近くのスーパーで紙幣を崩す必要があります。マイルームにはベランダなどは無く、あまり洗濯物を干すための十分なスペースがないので、洗濯をした後は、下着以外はそのままランドリー室の“物干し糸”に引っ掛けるか、もしくはスーパーで物干し台を購入して共有スペースで干します。

【掃除】

実を言うと、オーランドゥ・ドーミトリではマイルーム以外の共有スペース（バスルーム、キッチン、廊下など）は清掃を担当されている方が毎朝掃除をしてくださるので、特に朝の時間帯はかなり清潔です。バスルームのカーテンもときどき交換してくれます。掃除に関して自分がすることと言えばマイルームの掃除、食器洗い、服の洗濯、あとは月に二回行われるベッドシーツの交換くらいです。

【冷暖房設備】

マイルームの冷暖房の設備に関してですが、リトアニアは夏場でも比較的涼しく過ごせる気温ということもあり、オーランドゥの寮では冷房設備はありません。近年徐々に暑さが増しているものの、日本のようにクーラー無しでは過ごせないような気温ではありません。問題は暖房器具です。真冬になるとマイナス 20℃にまで達するにもかかわらず、温度調節の出来ない熱湯による暖房システムが備え付けられているため、服を着込むなどの防寒対策が必要になってきます。



【オーランド・ドーミトリで起こった事件】

キッチンを共有した寮生活なので冷蔵庫の食材が盗まれることは日常茶飯事です。しかし、以前オーランドゥ・ドーミトリ内において学生の財布が盗まれる事件が何度か立て続けに発生し、私の部屋の隣に住んでいた留学生や日本人の留学生も財布が取られてしまいました。この事件はアドミニストレータから注意喚起を呼びかけるメールが送られるまでに発展しました。犯人は確保されたものの油断は禁物だということを思い知らされます。